

# 稲門フィラテリー

2024 年 3 月 1 日発行

第 91 号

<http://post-stamp.org/wasephila.html>



## ふみの日切手をふりかえる

小川 義博

1979 年、文字離れが進む中、手紙の良さを見直す一助になればと当時の郵政省が毎月 23 日を「ふみの日」と定め、手紙の楽しさを啓蒙するキャンペーンをはじめ、その年の 7 月 23 日に「ふみの日にちなむ切手」を発行した。以後毎年、はがき料金と封書料金の切手が発行されて 45 年が経過、切手の種類も多くなり発行形態も多様で煩雑さを感じさせる一種のシリーズ切手だと感じる。今回、半世紀にもなるふみの日切手の発行をふりかえり整理してみた。

最初に、ふみの日切手の発行日が 7 月のふみの日・23 日に発行されるということが初回発行から続いているかというチト馬鹿げたこと整理してみた。45 年間で 23 日発行は 33 回、22 日発行は 5 回、21 日は 7 回という結果であり、曜日との関連で 23 日が日曜であれば金曜の 21 日に、23 日が土曜日であれば金曜の 22 日に発行されてきた結果

であり、ふみの日切手は切手発行が日曜に無くなった 1970 年以降であるので日曜発行はなく、1988 年の土曜発行の廃止の影響は 5 回 (5 年) 受けていた。因みに最後の日曜発行記念切手は 1970 年 11 月 29 日発行議会開設 80 年記念切手、土曜発行は 1988 年 9 月 3 日発行万国国家禽会議記念切手と懐かしい切手が DATABASE にヒットしてきた。

45 年間のふみの日切手発行状況は表 1 (次頁) のとおりである。はがき、封書用切手が 20 年は同種類数発行され、その後 15 年は封書用がはがきの 2 倍になったが、その後は再び同数になっており今後の変化が注意される。

全体の種類、発行枚数の経年変化を見ると図 1 のようになり、1997 年から 2000 年にかけて種類、枚数ともに急激増加して、その後、種類は増え続け 2014 年 20 種類までになるが、反対に発行枚数は 2003 年に大きく減少し現在まで徐々に減じてきて、一時の 20% 程度になっている。図 1 のように種類と枚数が 2000 年を境に相反した発行の状況であることを示している。これを、他の切手の状況と比較するため、同じ 45 年間の記念切手、シリーズ切手、グリーティング切手 (26 年間) の発行状況を参考資料として下に示した。ふみの日切手はシリーズ切手とほぼ同じ



最後の日曜日発行切手  
1970 年発行議会開設 80 年



最後の土曜日発行切手  
1988 年発行国際家禽会議

表 1. 45 年間のふみの日切手発行状況

|    | 年    | はがき<br>用切手<br>種類 | 封書用<br>切手種<br>類 | 種類<br>合計 | 発行枚<br>数 | 切離法 |
|----|------|------------------|-----------------|----------|----------|-----|
| 1  | 1979 | 1                | 1               | 2        | 10000    | 目打  |
| 2  | 1980 | 1                | 1               | 2        | 10000    | 目打  |
| 3  | 1981 | 1                | 1               | 2        | 10000    | 目打  |
| 4  | 1982 | 1                | 1               | 2        | 14000    | 目打  |
| 5  | 1983 | 1                | 1               | 2        | 14000    | 目打  |
| 6  | 1984 | 1                | 1               | 2        | 14000    | 目打  |
| 7  | 1985 | 1                | 1               | 2        | 14000    | 目打  |
| 8  | 1986 | 1                | 1               | 2        | 14000    | 目打  |
| 9  | 1987 | 1                | 1               | 2        | 11000    | 目打  |
| 10 | 1988 | 2                | 2               | 4        | 17000    | 目打  |
| 11 | 1989 | 1                | 1               | 2        | 20000    | 目打  |
| 12 | 1990 | 1                | 1               | 2        | 15000    | 目打  |
| 13 | 1991 | 1                | 1               | 2        | 13000    | 目打  |
| 14 | 1992 | 1                | 1               | 2        | 13000    | 目打  |
| 15 | 1993 | 1                | 1               | 2        | 13000    | 目打  |
| 16 | 1994 | 1                | 1               | 2        | 13000    | 目打  |
| 17 | 1995 | 1                | 1               | 2        | 13000    | 目打  |
| 18 | 1996 | 1                | 1               | 2        | 13000    | 目打  |
| 19 | 1997 | 2                | 2               | 4        | 15000    | 目打  |
| 20 | 1998 | 2                | 3               | 5        | 25000    | 目打  |
| 21 | 1999 | 4                | 10              | 14       | 20000    | 目打  |
| 22 | 2000 | 4                | 10              | 14       | 20000    | 目打  |
| 23 | 2001 | 4                | 10              | 14       | 20000    | 目打  |
| 24 | 2002 | 4                | 10              | 14       | 14000    | 目打  |
| 25 | 2003 | 4                | 10              | 14       | 4000     | 目打  |
| 26 | 2004 | 4                | 10              | 14       | 4000     | 目打  |
| 27 | 2005 | 4                | 10              | 14       | 3400     | 目打  |
| 28 | 2006 | 5                | 10              | 15       | 3400     | 目打  |
| 29 | 2007 | 5                | 10              | 15       | 2100     | 目打  |
| 30 | 2008 | 5                | 10              | 15       | 3000     | 目打  |
| 31 | 2009 | 5                | 10              | 15       | 3600     | 目打  |
| 32 | 2010 | 5                | 10              | 15       | 3000     | 目打  |
| 33 | 2011 | 未発行              |                 |          |          |     |
| 34 | 2012 | 5                | 10              | 15       | 3000     | 目打  |
| 35 | 2013 | 5                | 10              | 15       | 2400     | 目打  |
| 36 | 2014 | 10               | 10              | 20       | 4000     | シール |
| 37 | 2015 | 10               | 10              | 20       | 5500     | シール |
| 38 | 2016 | 5                | 5               | 10       | 3500     | シール |
| 39 | 2017 | 5                | 5               | 10       | 3000     | シール |
| 40 | 2018 | 5                | 5               | 10       | 3000     | シール |
| 41 | 2019 | 5                | 5               | 10       | 1900     | シール |
| 42 | 2020 | 5                | 5               | 10       | 2800     | シール |
| 43 | 2021 | 5                | 5               | 10       | 2700     | シール |
| 44 | 2022 | 2                | 2               | 4        | 2800     | シール |
| 45 | 2023 | 10               | 10              | 20       | 2800     | シール |

傾向であり、記念切手は発行枚数は同じながら種類の増加傾向がふみの日切手ほど明確でない。しかし、両切手とも 2000 年ごろを境に大きく発行状況が変わったことは同じで

下記よりふみの日切手 374 種を一覧できます。  
<http://post-stamp.org/ogawaimg/hphumistamp.pdf>

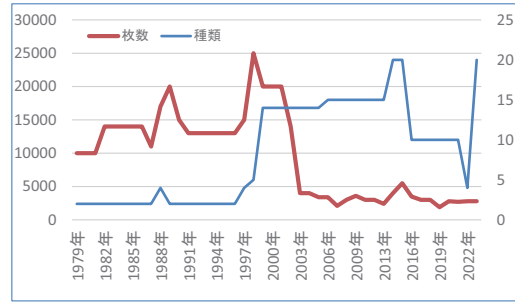
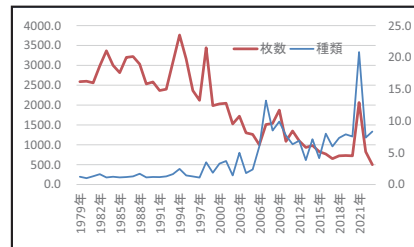


図 1. ふみの日切手の種類数、発行枚数の推移

ある。全体的にふみの日切手は記念切手とシリーズ切手との中間の発行状態の推移を示していると考ええる。グリーティング切手は全く異なる推移を示しており、発行目的、意図から検討する必要がある。

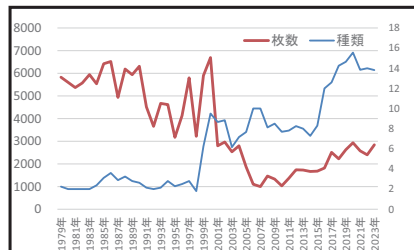
発行の推移で注意される点がある。小型

参考資料 各種切手の種類数、発行枚数の年別平均の推移



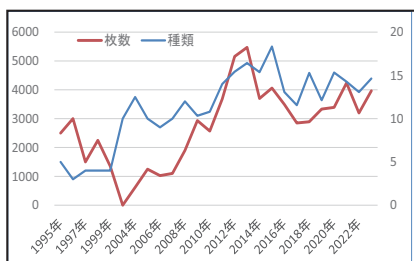
記念切手

429 件 1621 種 899752 万枚



シリーズ切手

480 件 3797 種 1518440 万枚



グリーティング切手 26 年間  
 184 件 2450 種 609265 枚



1988年発行  
小型シートとペーン

表2 小型シート・ペーン発行

| 年    | ペーン | シート | 小型シート |
|------|-----|-----|-------|
| 1987 |     | 1   | 1     |
| 1988 | 1   | 1   | 1     |
| 1989 | 1   | 1   | 1     |
| 1990 | 1   | 1   | 1     |
| 1991 | 1   | 1   | 1     |
| 1992 | 1   | 1   | 1     |
| 1993 | 1   | 1   | 1     |
| 1994 | 1   | 1   | 1     |
| 1995 | 1   | 1   | 1     |
| 1996 | 1   | 1   | 1     |
| 1997 | 1   | 1   | 1     |
| 1998 | 1   | 1   | 1     |
| 1999 | 1   | 1   | 1     |
| 2000 | 1   | 1   | 1     |
| 2001 |     | 1   | 1     |
| 2002 |     | 1   | 1     |
| 2003 |     | 1   | 1     |
| 2004 |     | 1   | 1     |
| 2005 |     | 1   | 1     |



シート・ペーンの発行、外国製の切手・変形切手の発行、切手デザイン公募の3つの事項がふみの切

手の発行の中で見られることが他の切手と異なる。まず、小型シート・ペーンは表2のとおり、18年間にわたり発行され、この間、小型シートは1993年から2005年用暑中見舞用郵便葉書かもめーる(くじ付き)の賞品となっている。

ふみの日切手には最初に外国で印刷された切手がある。1999

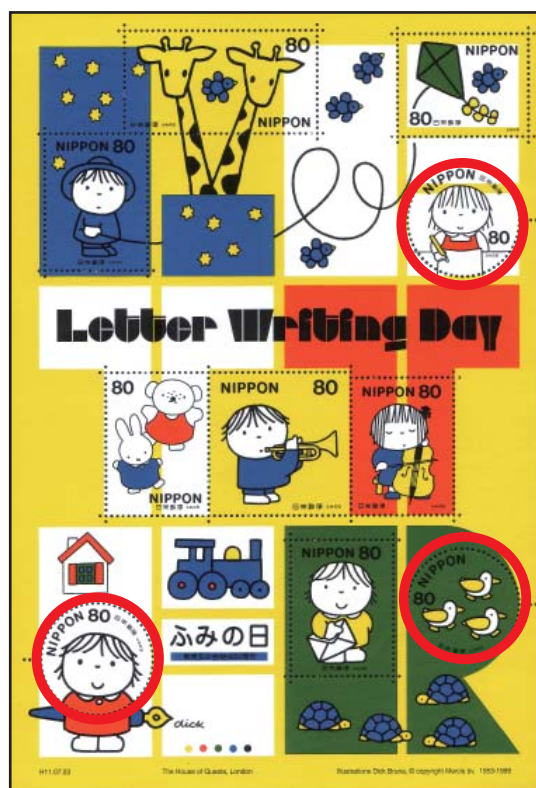
年発行の郵便友の会結成50周年記

念を兼ねた切手14種であり、銘版は「The House of Questa .London」となっている。

これら14種切手の中に円形の切手が3種発行されており、最初の目打の変形切手である。目打を円形にすることが国内で出来なかったため外国製となったという。なおシー



The House of Questa .London の銘版



初の外国製切手シート 他に50円切手4種あり



1999年発行最初の変形切手5種のうちの2種aと2000年発行20世紀デザインシリーズ170種のうちの変形切手7種の中の1種

ルの変形切手はこれより1年早くグリーティング切手で5種が発行されている。変形切手は現在約900種が発行されてきたが目打切手は46種5%に過ぎず20世紀デザインシリーズ切手に7種発行されているのが目立つ程度でふみの日切手が突出している。

また、ふみの日切手にはシリーズ切手では見られないデザインの公募が3回行われ、7種の切手に公募デザインが採用されている。1980年に「ふみの日切手デザインコンクール」があり小学5年の児童の作品が切手に



1980年

1988年の2種

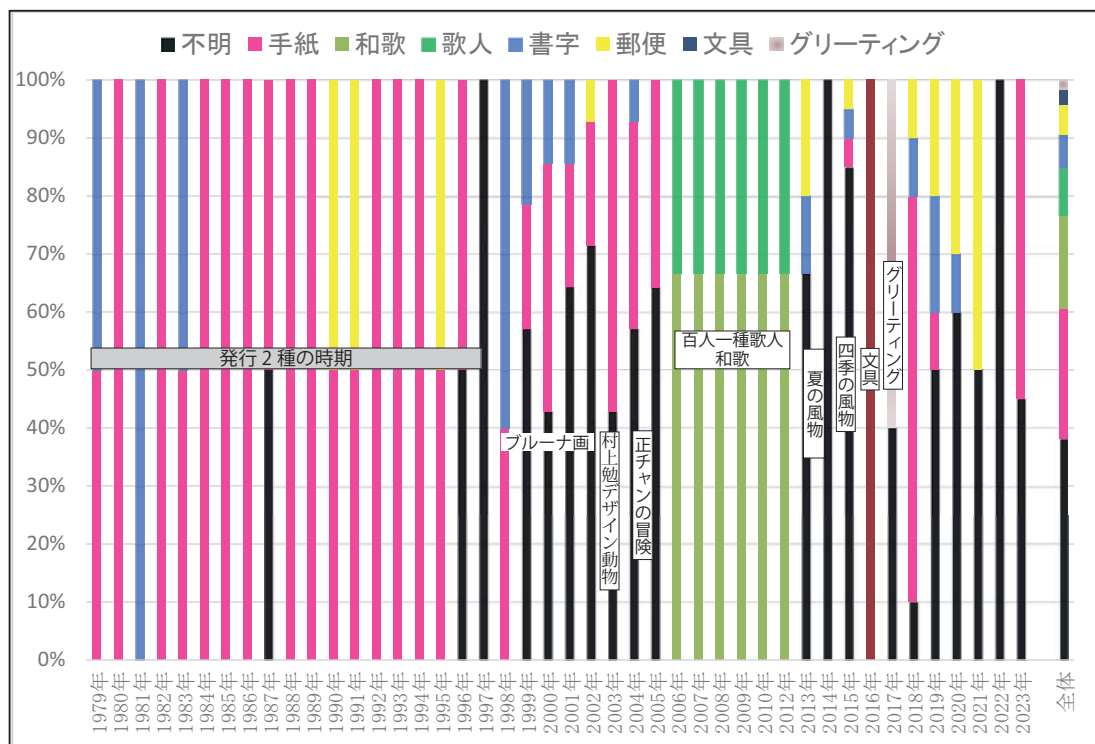


1997年発行 ふみをイメージできない4種

なっている。1988年ふみの日切手4種のうち2種が公募デザイン切手である。ここまでの3種のデザインにはふみの日を感じさせる封書が描かれているが、1988年の4種はふみの日を感じさせるデザインではない切手が発行された。

ふみの日切手374種を経年的に眺めるとデザインが一定期間をおいて、デザイン対象に変化が見られるようだ。ふみの日切手の目的である紙への文字表現によるコ

ミュニケーションの内容をどのようにデザインしているか整理してみた(図2)。手紙、宛名書き等手紙準備、郵便手段、高度のコミュニケーションである詩歌等がデザインされている。これを整理したのが図2である。1979年から96年までの17年間は2種発行の期間が続いて、その間のデザインには手紙、書字が含まれており、「ふみ」をデザインに表現していると感じさせる。しかし1997年からは「ふみ」を感じさせないデザインが見られるようになりその後は「ふみ」に縛られないデザインが増え、それまでのふみの日切手と異なる感じになっている。1999年から2005年はブルーナ等の「ふみ」に関係のない絵本キャラクターがデザインになっていて、ふみの切手のイメージが変化している。その後5年間は文字によるコミュニケーションの最たるものが切手になった。和歌である。2006年から百人一首から5首が歌







「ふみ」を手紙、書字にイメージした初期の切手



ブルーナの キャラ、村上勉の動物、正ちゃんが  
「ふみ」をまとうことなく切手に描かれる



2010 年発行 百人一首 伊勢の和歌切手

難波湯 短き筆の ふしの間も  
逢わでこのよを 過ぐしてよと



アサガオ  
プレゼント

雪と椿  
郵便風景

鉛筆

クリップ  
動物・鳥と手紙

感謝文

人とともに3種の切手となり5年で25首が切手になった。和歌から手紙、郵便を連想することは難しいと思うが興味を持てる切手である。その後は年ごとに内容が異なるが季節の風物、文具、グリーティング等が注意され、グリーティング切手との違いを見つけるのが難しい。また15年見られなかったポスト等郵便を連想する切手が復活し、動物、鳥等と手紙が組まれた切

手が多くなってきている。ふみの日切手は電子媒体でなく紙媒体での文字によるコミュニケーションの大切さ、興味深さを意識させるものと考え、そのデザインの難しさを感じる。

# 期待・・・はずれ！？

## 青柳次男

「オマエ、切手集めてたよナ」沖縄在住の友人からの突然の電話。卒業以来 50 数年。長い間音信不通の友人だ。びっくりしながら答えた。「ウン」。近況を報告しあい、1～2 分で、電話は切れた。その時、偶然にも私は沖縄切手、それも米国統治下の暫定切手に興味を持ち、そのリーフを作成中だった。しかし、その



リーフを埋める切手を揃えるのに苦労していた。そこへの電話。私は勝手に彼が何か沖縄切手を送ってくれる、と思ってしまった。それも、彼は米国統治下の沖縄育ち。きっと占領時代の切手を送ってくれりと期待してしまった。電話の中で、そんな話は全くしなかったのに。当然のこと、その後、彼からは以前の通りの音信不通、ナシノツブテ。正月の賀状だけは届いた。



かなりの空白を残したリーフを眺めながら、自分自身の勝手な期待、思い込みに呆れている。が、しかし、切手を集め始めてから現在まで、随分と勝手に期待し、思い込んだり、失敗したことがあることに改めて気が付いた。そんなことを

綴ってみた。もちろん、上手くいったことも・・・・・・

### 軍艦の切手

私が切手収集を始めたころ目にする切手は、ほとんどが、法隆寺壁画の 10 円切手と長尾鶏の 5 円切手。記念切手が発行されることなど全く知らなかった。そんな時、父親が襖の破れを補修するために張った紙（多分記念色紙だと思われる）に、ギザギザのある小さな紙切れが貼られ、そこに赤い丸い印が押してあるのに気が付いた。そしてその小さな紙には

「軍艦」が描かれていた。ギザギザがあるから「切手」に違いないと思ったものの、剥がしようがない。切り取ってしまえば、また襖に穴が



開いて怒鳴られるのは目に見えている。どうしよう。そうだ！ 私は、父親の髭剃りの使い古しの刃に目を付け、それを使ってその「切手」を剥がしとった。

「額面が円じゃないから古い切手に違いない。きっと値打ちがある」と、大切に薄紙で包み込み、ノート（だったと思う）に挟み込んだ。後に切手のカタログを手に入れた時、真っ先に剥がしとった

切手を調べた。「満州皇帝御来訪記念」の1銭5厘切手。私が最初に「値打ちがある」と思い込み期待した切手は、髭剃りの古い刃によるヘゲだらけの小さなカミクズになって、私のもとから消えていった。

## BUENOSAIRE

2～3 歳年下の近所の子のストックブックを見せてもらった。一番上のスペースにみすばらしい同じデザインの手紙が数枚並んでいる。よく見ると煙を吐く一艘の船の図案だ。少し欠けた文字で、BUENOSAIRE と読める。ブエノスアイレスは、アルゼンチンの首都だ。私は当時高校へ入ったばかり。その程度の知識は持っていた。で



も、切手は「国」が発行するもので、都市でも発行するとは思っていなかったから、それらの切手は、シールの類か全くの偽物切手だと思った。しかし、無目打ちで多少年代物のように見受けられる。私は、自分のお気に入り切手と、そのブエノスアイレスを交換した。当時、SCOTTのようなカタログがあるとは思ってもいなかった。そのため、そのブエノスアイレスは切手かシールか分からずに、長い間、私のストックブックに指名手配のように居座り続けた。早大切手研究会に入学し、学生会館の19号室で初めてSCOTTに出会った時は本当にびっくりした。世

界中の切手が網羅されている。こんなカタログがあるのか。早速、わが指名手配切手ブエノスアイレスの検索に出た。アルゼンチンのページに見つからない。もう一度、アルゼンチンのページを最初から見直した。アルゼンチンの最後部に同じデザインの切手を見つけた。アルゼンチンが独立する前、1858年にブエノスアイレスで発行された切手だった。当時で\$200の評価。すごい切手だと思ったのもつかの間、リプリントと模造品が多く見受けられるとのコメント。一生懸命にチェックはしてみたものの、どう見ても本物と判断できない。数年間の期待が一瞬のうちに消え去ってしまった。昨年2023年、私は、そのブエノスアイレス切手のリプリント版をコンプリートに揃え、リーフを作成した。出会ってから半世紀を経過していた。

## BLOCK

外国切手を集めるため、少しは読み書きのできるようになった英語を使い、海外との文通を始めたのは、高校に入学する前だった、と記憶している。アメリカ、スウェーデン、西ドイツ、ケニヤ等など。西ドイツの友人からは、柔道に関する英文の書籍を送って欲しいとの依頼を受けた。本屋に勤める知人に頼んで、何とか該当する書籍を入手し、近所の郵便局に持ち込んだ。翌日、郵便局から連絡が来た。「本局で手続きして下さい」。一番近い落合長崎局に出かけ、複雑（と感じた）な書類を作成し、何とか発送でき



た。当時、海外への荷物の送付は本当に面倒くさかった。それに比べ、現在は何と簡単なことか。柔道の本を届けた西ドイツのミュンヘン近郊に住む友人からは、本のお礼とともに、日本切手が欲しい。それも「BLOCK」でと連絡が届いた。「ブロック」って何だ。切手の知識も、英語の知識も浅い私は、困惑した。彼からの手紙を読み直してみると、そこには、西ドイツの切手を「ブロック」で送る。だから日本切手も「ブロック」で送れと記され、西ドイツのカラフルな童話の切手が4枚同封されていた。この時初めて「ブロック」を「田型」と知った。それからは、日本の切手を全てブロックで送付し、西ドイツからもブロックで切手が届いた。そして結局、ミュンヘン五輪近くまで切手の交換が続き、西ドイツの切手をブロックで随分と集めることができた。先日、稲門フィラテリー初の切手展に西ドイツ切手を出品することになり、半世紀も前に入手したそれらの切手をSCOTT片手に整理した。そしてそれらの切手が全て寄付金付き切手であることに初めて気が付いた。自分で何を期待していたのか定かではないが、何だか拍子抜けしてしまった。寄付金付き切手をあまり好きではないのかもしれない。

### 貼り絵と手彫りそして不統一印

昨年暮れ一通の喪中通知が届いた。早大切手研究会時代にアルバイトをしていた切手商の社長が亡くなった。アルバイト初日。社長は私に手彫りを知っている



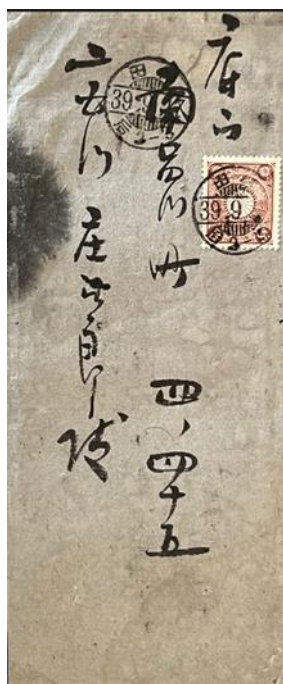
ブロックを分解してしまった。

かと尋ねてきた。知ってはいるが見たことも無い、と返事をする、と一冊のストックブックを持ってきて広げた。「これが手彫りだよ」。そして続けた。「全部ニセモノ」。本物を知らない私にニセモノを見せる意味は何だったのか。アルバイト先には社長の従妹が手伝っていた。私と誕生日が2日違いの活発な女性だった。そのアルバイト先の会社は、都内の数店のデパートで切手を販売していた。私と彼女は、それらのデパートで一緒に販売員を勤めたりした。その彼女が、秋田の田舎に帰ることになった。私は何か記念に残るものをプレゼントしようと、切手で見返り美人の貼り絵を作ることにした。彼女が東京を離れる日、駅まで見送り、その貼り絵を手渡した。私の口には出さない期待は見事に裏切られ、彼女は故郷の豆腐屋さんに嫁いだ(らしい)。

その切手商には、大学を卒業するまで世話になった。その後、何枚かの貼り絵を作成した。肉筆浮世絵師：懷月堂安度の絵を貼り絵にした時には、その貼り絵に作者の名前を、墨書することにし、それを私の友人に依頼した。そしてその完



成した貼り絵を、六本木交差点の傍の今はもう無い小さなバーの壁にかけることになった。懐月堂安度と墨書してくれた友人と共に、その貼り絵を持って行った。バーのママはとても喜んでくれた。私は同行してくれた友人に、同じような貼り絵を作成してあげることを、ほのかな期待を胸に秘めて、約束した。その期待は叶えられたが、その約束はまだ果たしていない。「いつ作ってくれるの」と50数年間言われ続けている。そのわがカミさんの実家は、品川宿で江戸時代から続く米穀商。米蔵を含め5つの蔵を備えていた。その中の一つは、住居に接続した文書蔵兼物置として使用されていた。ある時、その中の探索を許された。目指すは古い手紙類。手彫りのエンタイアが見つかるかも。しかし、数枚の古



銭と借用証などの古文書（品川区の文化財に指定されている）ばかり。見つけたエンタイアは菊切手と田沢型のみ。

その手彫り切手を手に入れたのは、還暦を過ぎてからだ。48文切手をオークションで応札し、ドキドキしながらその結果を待った。期待通り入手できた時には初めて、切手収集をしている気分になっ

た。しかし、それからが茨の道。学生時代のアルバイト先の社長に見せられたニセモノを何度も掴まされてしまった。しかし、ニセモノの手彫り切手も、その歴史が100年も経過していれば、負け惜しみかもしれないが、もう十分に骨董価値があるのではないかと考えている。



ある時、海外のオークションサイトに、興味深い手彫りを見つけた。切手よりも切手に押された不統一印に引き付けられた。直ぐに応札した。絶対に入手したいと思った。48文切手に応札した時よりもドキドキしながら結果を待った。見事に負けてしまった。しかし、不思議なもので、そのすぐ後に、日本のオークションに似た不統一印が出品された。絶対に落札するぞ、という気持ちで、提示額よりも数万円高く応札した。落札できた。この不統一印は、信濃と筑前の2か所（その他にもある）にあることがわかっている。私はその一つ信濃を入手できた。どうしてももう一つの筑前を手にしたい。しかし、いくら人生100年時代とは言うものの、残された時間はそんなにない。何とかこの期待を実現できるよう力を注ぐことにする。その不統一印は、これだ。



## 東京・小平市の日本一大きな丸ポスト

### 磯野昭彦

平成 21 (2009) 年、諸田さんから1枚の資料を手渡され「磯野さんの住んでいる小平の日本一丸ポスト話題を稲門フィラテリー誌に寄稿を」と提案いただいた。15 年も前のことである。いま、改めてやっと寄稿することにした。

このポストは小平駅からも近い小平市民文化会館「ルネこだいら」の前に設置されており、高さ 2.8 メートル、幅 80 センチ、重さ約 1.2 トン。投函口が二つあり、現役のポストとして活躍している。実際の写真を見ていただこう。





写真1 ルネこだいら前に設置された  
日本一丸ポスト



写真2 日本一丸ポストに貼られた  
郵便物の収集時刻表



写真3 日本一丸ポストの大きさ高さなどの詳細説明





写真4 日本一丸ポストに投函しに行く  
小平市職員



写真5 ポストの寄贈者と製作者  
(日本一丸ポスト製作実行委員会)



写真6 ルネこだいら・日本一丸ポスト前を歩く高校生

小平には通常サイズの丸ポストも数多く設置されています。本稿の続編として、「小平市の丸ポスト数は日本一」もまとめたいと思っています。

## 昭和 20 年代の早大切手研通信

早大切手研設立当初、はがきによる手書きの切手研通信が会員へ送付されていました。お手元にまだお持ちの方もいらっしゃると思いますが、昭和 25 年および 27 年の通信が手元にありますので紹介したいと思います。

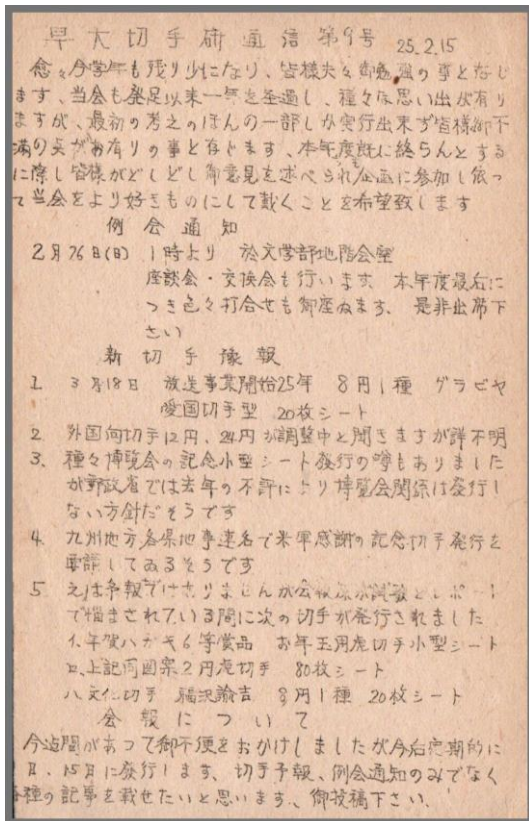


図1 昭和25年2月15日号

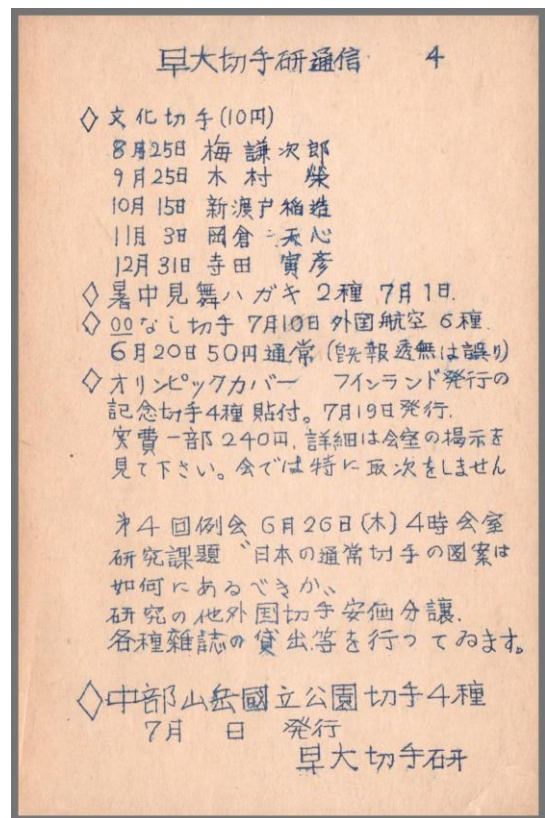


図2 昭和27年6月発行

図1は昭和25年2月15日の日付のある切手研通信です。当時は日曜日の午後に文学部地階の会室で例会が行われていたようです。「九州地方各県知事連名で米軍感謝の記念切手発行を要請しているそうです」とあるのが時節を感じさせます。この通信は毎月1日と15日の発行を目指していたことが文末から伺えます。図2は明確に年号が記載されていませんが、文面の切手の発行年から昭和27年であることがわかります。第4回例会の研究話題が「日本の通常切手の図案は如何にあるべきか」とあります。当時どのような議論が交わされていたのか、気になりますね。

(編集子)



# ビール会社の絵封筒

池澤克就

薄い和紙の封筒にロゴやイラストをアレンジした絵封筒を集めている方もいると聞く。私も意識して集めてはいないが、酒に関する郵趣資料を収集対象としている関係でビール会社の絵封筒がいくつか手元にあるので紹介したい。

図1は「カブトビール」のロゴ入り絵封筒である。カブトビールは明治31(1898)年から昭和18(1943)年まで製造されていた国産ビールである。明治20(1887)年、中埜酢店の4代目中埜又左衛門とその甥である盛田善平が丸三麦酒醸造所を設立、明治31(1898)年10月31日には愛知県半田市榎下町に工場を新築し銘柄を「加武登麦酒(カブトビール)」とした。カブトビールの名称は、ビールを勢い良く飲むしぐさの「かぶる」からであるとか、日清戦争後であることから勇壮な兜の商標を用いた等諸説ある。この絵封筒の裏面からは、東京市銀座三丁目に本店があったこと、大阪支店、名古屋支店、半田工場の名前も見て取れる。カブトビールは大正

11(1922)年に帝国鉱泉株式会社と日本製塩株式会社を併合して日本麦酒醸造株式会社に改称、昭和8(1933)年7月に大日本麦酒株式会社と合併し、昭和18(1943)年に企業整備令の適用で半田工場を閉鎖。カブトビールの製造は終焉を迎えた。昭和5年の消印が残されたこの一通からは、日本のビール史の一端を感じ取ることができる。

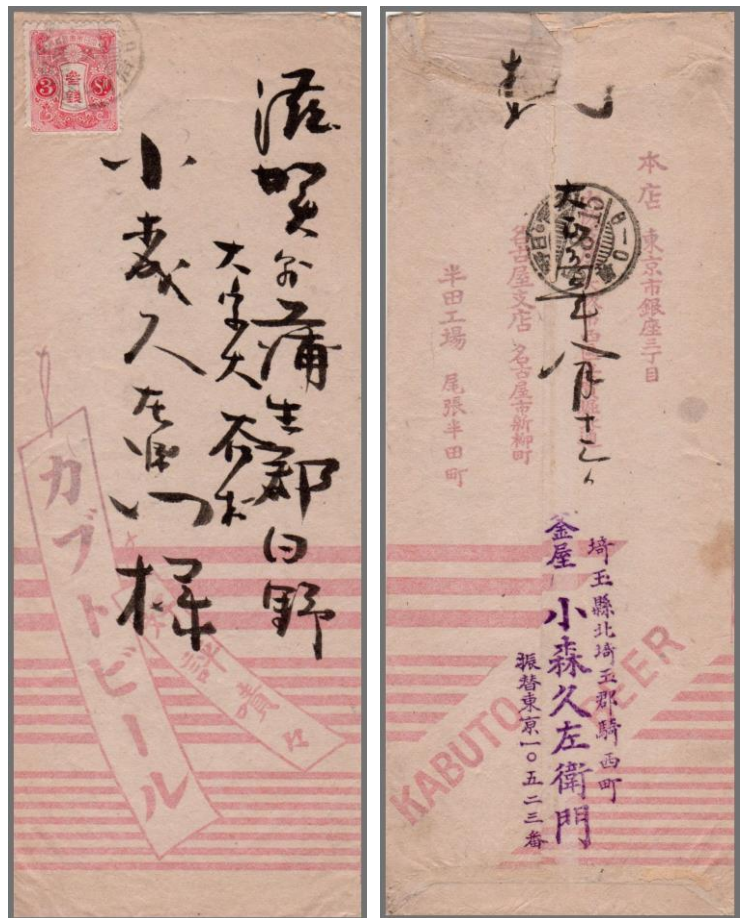


図1 カブトビールの絵封筒(左：表面 右：裏面)



図2はアサヒビールの絵封筒である。残念ながら郵便で送られたものではなく通帳を入れる袋として利用されていたようで郵趣的価値はないかもしれないが、明治 25(1892)年にアサヒビールが発売された当時のロゴ(図 3)が大きくアレンジされ当時の工場や蒸気機関車などが描かれたインパクトのあるデザインである。裏面には大阪麦酒株式会社の文字が見える。朝日ビールの歴史を紐解くと、大阪麦酒株式会社、日本麦酒株式会社、札幌麦酒株式会社の



図2 アサヒビールの絵封筒(左:表面 右:裏面)

3 社合同により大日本麦酒株式会社が設立されたのが明治 39(1906)年 3 月であるから、この封筒はそれよりも以前に作られたものであろう。

絵封筒から日本のビール醸造の歴史の片鱗を垣間見るのもまた一興である。さて、今夜もそろそろビールで一杯といきますか。

→ 図3 アサヒビールの発売広告  
明治 25(1892)年 5 月



## ■QRコードができました

今号から表紙にQRコードをつけてみました。右も表紙と同じものです。スマートフォンやタブレットで読むと稲門フィラテリーのホームページに接続できます。ぜひお試しください。



## ■皆様からの一言をお寄せください

以下のテーマで皆様から一言コメントを募集致します。

- (1)切手収集を始めたころの思い出
- (2)切手を集めて良かったこと
- (3)切手収集に関わる失敗談
- (4)切手から生まれた交友関係
- (5)コレクションの終活について
- (6)思い出の一枚(画像があればぜひ)

いずれかのテーマ単独でもかまいませんので、青柳宛(tsuaho@green.ocn.ne.jp)にお気軽にメールでお寄せ下さい。

## ■4年に一度の2月29日

今年、2024年はうるう年。4年に一度の2月29日がやってきました。私は当日北千住をぶらついていたので、北千住界隈の郵便局を3局ほどまわって2月29日の風景印を集印しました(池澤)。



2月29日の風景印

千住大橋駅前/北千住/足立旭町各郵便局

## ■失われた景色

今年は元旦から震災のニュースが全国を駆け巡り、波乱の幕開けとなりました。いまだ復興作業が続く北陸ですが、かつて切手になった景色にも失われたものがあるようです。右に挙げた切手は地方自治法施行60周年の石川版(平成



見附島

上 現在/下 2022年

26(2014)年11月26日発行)にとりあげられた見附島ですが、この島も一昨年と昨年、そして今回の地震で大きく崩れ、形を変えてしまいました。

## ◇編集後記◇

皆様のご協力でようやく発刊の運びとなりました。つい先ごろ TOKYO2020 が終わったと思ったらあっという間に今年にはオリンピックイヤー。4年ごとに時の過行く早さに驚いています。そろそろ桜も開花の時節。新たな気持ちで新年度を迎えたいですね。

発行日：2024年3月1日

発行・著作：稲門フィラテリー

発行人：池澤克就

〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4階

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：池澤克就 青柳次男

本会報からの無断掲載・複製は、メディアを問わず禁止します。